

秋そばの花 ~原平地区にて~

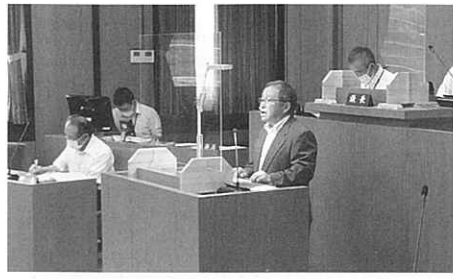


南部地区議員会総会

議 会 だ よ り

第2回議会臨時会概要	2ページ
第3回議会定例会概要	2~4ページ
決算説明会の質疑から	4~5ページ
一般質問	6~8ページ
監査委員による決算監査実施	9ページ
長野県町村監査委員研修会	9ページ

村づくり意見交流会	10ページ
町村議会議員研修会	10ページ
南部地区議員会総会	11ページ
敬老記念行事に参加して	11ページ
議長コラム・編集後記	12ページ



前沢代表監査委員より監査報告

○教育委員の任命につき同意を求めることについて
・佐川浩一教育委員が9月30日をもって任期満了となります。(1期目)佐川氏は適任者

▼人事案件

○職員の子育休業等に関する条例の一部を改正する条例について
・職員の育児休業等に関する人事院規則が4月に公布されたことに伴う改正で、主に男性職員の育児休業の取得制限の緩和などで、可決しました。

であり、引き続き任命したく、議会ではそのことに同意しました。
任期は、令和4年10月1日から令和8年9月30日までの4年間で

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて
・堀尾伸夫氏が9月30日をもって任期満了となります。(2期目)堀尾氏は適任者であり、引き続き任命したく、議会ではそのことに同意しました。

任期は、令和4年10月1日から令和7年9月30日までの3年間で

▼補正予算

○一般会計(第3号補正)
《8,800万円を増額》
総額31億3,200万円に。

【歳入の主なもの】
地方交付税で8,790万5千円、新型コロナウイルスワクチン接種事業に伴うシステム改修委託料等で2,592万8千円、地方税共通納税システム改修委託料に246万4千円、マイナンバーカード取得促進費用として112万円、道路維持・修繕工事費として1,200万円、上野原多目的広場の工事費等として567万6千円、また、第三の居場所建設設計監督委託料350万円などを計上し、事前にその内容の詳細を各課課長より説明を受け、たうえで審議に臨み、原案どおり可決しました。

○下條村国民健康保険特別会計(第1号補正)
《2,570万円の増額》
総額4億8,070万円に。
【歳入の主なもの】
・人間ドック負担金として7万9千円の増、令和3年度繰越金の確定分として588万8千円の増、諸収入として令和3年度保険給付費等交付金の精算返還金として173万4千円の増。
【歳出の主なもの】
・特定健診審査等事業費の委託料等として42万2千円増、歳入との調整で基金積立金を700万円増、予備費を56万円増額計上し、審議のうえ原案どおり可決。

○下條村介護保険特別会計(第2号補正)
《200万円の増額》
総額8,640万円に。
【歳入の主なもの】
・一般会計繰入金を建設改良費で200万円の増。
【歳出の主なもの】
・委託料としてシステム改修業務に50万円増、積立金100万円減、宝の戸送水ポンプの取替工事250万円の増を計上し、審議のうえ原案どおり可決。

令和3年度の決算(一般会計及び特別会計4つ)について、議会では会期中に「決算説明会」を開催し調査・研究を行い理解を深めました。
最終日に質疑応答を行い審議のうえ原案どおり可決しました。
○令和3年度下條村一般会計
歳入…36億3,539万円
歳出…31億1,728万4千円

第2回 下條村議会臨時会

令和4年7月11日

防災行政無線伝送多重化事業工事請負契約を審議するため、7月11日に招集し、1日間の会期で行い、審議の結果可決しました。

▼工事請負契約の締結

○債務負担行為 令和4年度下條村防災行政無線伝送多重化事業工事請負契約の締結について
・平成21年度に整備した防災行政無線システムも建設から13年が経過し、機器の老朽化による改修について、契約金額327,800千円(消費税込み)として富士通ネットワークソリューションズ(株)と仮契約した。工期は令和6年3月31日までで、令和4年度は事業費118,800千円で放送卓の整備と音声告知システム等の連携装置設置、令和5年度事業費209,000千円でパンザマスト更新と屋外拡声子局整備等を予定しており、審議の結果可決しました。

令和4年3年度下條村財政健全化判断比率等の報告について
職員が草刈り作業中に起こした事故により、相手方の車両の損害を賠償した額が決定したものの報告がありました。
○令和3年度下條村財政健全化判断比率等の報告について
・令和3年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに黒字、実質公債費比率はマイナス4.6で前年度より0.4ポイント向上しました。引き続き全国でもトップクラスの健全な財政運営が推進されている旨の報告がありました。

第3回 下條村議会定例会

○新型コロナウイルスワクチン接種事業などの増とする補正予算(第3号)可決。 会期9月7日から9月15日まで
○福祉医療費支給条例の一部改正など条例の一部改正3件を可決。
○令和3年度決算を認める。

令和4年第3回定例会は、9月7日に召集され、15日までの9日間の会期で行われ、報告が2件、人事案件が2件、条例の改正が3件、補正予算4件、令和3年度決算の認定5件、請願1件、意見書の発議1件が提出され審議の結果18件を承認/可決し閉会しました。

▼一般質問は、議員6名より

初日に行われた一般質問はP6以降に詳細が掲載されています。

▼報告

○損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告
職員が草刈り作業中に起こした事故により、相手方の車両の損害を賠償した額が決定したものの報告がありました。

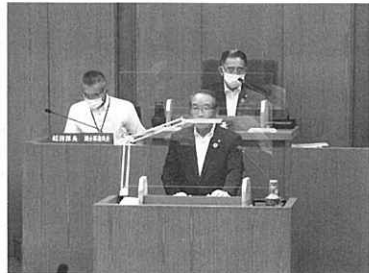
▼条例の一部改正

○下條村福祉医療費支給条例の一部を改正する条例について
・後期高齢者医療保険の自己負担割合は、現在1割負担、又は3割負担でしたが、10月1日からの制度改正により1割負担、2割負担、3割負担に分かれることから、村独自の福祉

○令和3年度下條村財政健全化判断比率等の報告について
・令和3年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに黒字、実質公債費比率はマイナス4.6で前年度より0.4ポイント向上しました。引き続き全国でもトップクラスの健全な財政運営が推進されている旨の報告がありました。

○下條村国民健康保険特別会計(第1号補正)
《2,570万円の増額》
総額4億8,070万円に。
【歳入の主なもの】
・人間ドック負担金として7万9千円の増、令和3年度繰越金の確定分として588万8千円の増、諸収入として令和3年度保険給付費等交付金の精算返還金として173万4千円の増。
【歳出の主なもの】
・特定健診審査等事業費の委託料等として42万2千円増、歳入との調整で基金積立金を700万円増、予備費を56万円増額計上し、審議のうえ原案どおり可決。

○下條村議会議員及び下條村長の選挙における選挙運動の選挙運動用自動車等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
・国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律及び公職選挙法の一部を改正する法律の公布に伴う改正で、主な内容として選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用通常業書等の作成の公営に要する経費に係る限度額の引き上げなどで、可決しました。



村長開会あいさつ

決算説明会の質疑から

前年度比較で歳入が0・9%、歳出が1・3%それぞれ増となりました。

○令和3年度下條村国民健康保険特別会計
歳入…3億329万6,071円
歳出…2億9,740万7,871円
前年度比較で歳入が7・72%、歳出が8・37%それぞれ増となりました。

○令和3年度下條村介護保険特別会計
歳入…4億8,180万9,893円
歳出…4億5,602万6,498円

○令和3年度下條村後期高齢者保険特別会計
歳入…4,789万634円
歳出…4,789万634円

○令和3年度下條村営水道特別会計
歳入…7,716万2,196円
歳出…7,005万103円

【請願】「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願書
総務文教委員会に付託、審議の結果「採択」され、本議会において「採択」されました。

【議員発議】●不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書
【可決】

―令和3年度決算説明会質疑―
Q タクシー券の利用率は？
A 免許返納者41%、福祉タクシー65%。
(総務課)

Q ふるさと応援寄付金が令和2年より増えた。金額の多い人はどのくらい？
A 多い人は14万円。寄付の活用先を寄付者に選択してもらっている。返礼品に引かれる部分がある。国の制度として議論を。
(総務課)

Q コロナ関連の主な支援の財源内訳は？
A 生活応援商品券は村単の財源。国・県事業は国・県から指示のあった事業に充てた。
(総務課)

Q インターネット関連、通信関連の機器をたくさん購入しているが、家電量販店を利用しないのは何故？見積りはいくらから？
A 家電量販店のパソコンは「家電系」のもの。数量の関係もある。量販店のものは安いから。
Q スマホで見える防災マップの河川カメラ情報があるが、増設の予定は？
(総務課)



低温貯蔵庫内の様子

Q 事業主体は県で、村は設置許可を出したのみ。2台設置。
(総務課)

Q 年度当初予算計上してある道の駅使用料が決算書に載っていないのは？
A 農業施設使用料として、そばの城、うまいもの館は0円。そば乾燥調整所は25万720円入っている。
(振興課)

Q 果樹オーナー制度の料金は？
A 木丸ごと一本ではなく、りんご一口40kg 2万円、梨70kg 2万5千円。村の支出は郵送料のみ。
(振興課)

Q 返還金支援など若者の地方定着事業を創設して行きたい。
(教育委員会)

Q 学校給食で地元野菜の継続的な確保の為に納品価格等の検討が必要では。
A 食材の単価は数年前に改正し見直している。今年度からは燃料費等の高騰もあり運搬費を上乗せし支払っている。
(教育委員会)

Q オンライン授業などの体制をとれる状況になっているか。
A オンライン授業は取り組んでいる。双方向(教室と家庭)の授業展開までは担任のみの対応が難しいのでICT支援員による更なるサポート体制を図って行きたい。
(教育委員会)



極楽浄水場内の議員視察の様子

Q 燃やすごみ以外は各自自治体での処理か？
A 自治体ごとの処理。プラスチック・ペットボトルは、容器包装リサイクル協会経由で委託先を決めている。
(振興課)

Q 配水量と有収水量が異なっている理由はあるか？

Q 漏水、消火栓からの使用、浄水場でろ過する際の逆洗工程での排水が考えられる。異常が復旧しない場合は休日昼夜関係なく対応。
(振興課)

Q 子育て世帯生活支援特別給付金事業については申請が必要か、また周知はできたか。
A 児童扶養手当受給者は申請不要。申請が必要な世帯には個別に通知している。
(福祉課)

Q 上乗せで支給されるが、ひとり親の児童扶養手当は申請が必要となり所得や扶養児童数に応じた支給金額となる。
(福祉課)

Q 子育て世帯生活支援特別給付金事業については申請が必要か、また周知はできたか。
A 児童扶養手当受給者は申請不要。申請が必要な世帯には個別に通知している。
(福祉課)

Q 福祉バスの運行ルートと時間は固定されているが、それに対して住民要望はあるか。
A 住民の要望があればそれに合わせて柔軟な運行を行っている。
(福祉課)

Q 乳幼児、小中学生の福祉医療の仕組みは。
A 一医療機関あたり月額300円の自己負担

Q 園児送迎バス乗降時のチェック体制はどの様に行っているか。
A 乗降時毎の人数確認とバス運転手の最後確認を行い、加えて保護者からの連絡による出欠確認を確実にしている。
(教育委員会)

Q 学生の村への帰郷策として教育ローンの返還金自体への支援が必要では。
A 返還金自体への支援は必要では。



学校給食の様子

村内のマイナンバーカードの普及について

Q 総務省からマイナンバーカードの取得をと連日報道されておりますが、現在村の普及率はどれ位ですか。

A 村の6月末日で26%でした。8月14日現在で30.3%と上昇しております。

Q マイナンバーカードのメリットは各種証明書がコンビニで受取る事ができ、非常に便利になりますが、村ではいつ頃から利用可能ですか。

A 現在システムの改修を進めております。来年2月頃から利用できる予定です。

Q 全国で普及率1位は宮崎県都城市（6月末）78.6%だそうです。村でも普及に向けての取り組みはどうなっていますか。

A 7月より休日及び時間外の申請を行い普及に向けて計画を立てて行っております。尚、9月末までに取得すると最大20,000ポイントを受取る事ができます。10月からも状況を見ながら休日時間外の受け付けを考えております。

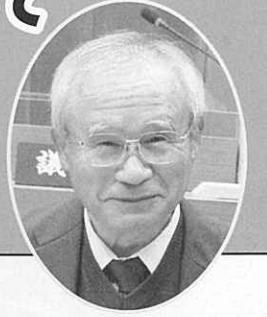


福澤利尚 議員



リニア・三遠南信自動車道の開通を控えた地域づくりとクアオルト導入について

Q 村は今年度クアオルト導入推進事業を立ち上げたが、クアオルトは新しい健康づくりの場として国民的需要がある。南信州広域連合はリニア未来ビジョンとして、下伊那南部ブロックを自然や地域資源を活用してクアオルトを目指す旨、公表した。下條村はリニア残土処理地後利用計画において特別委員会から「健康志向ゾーン」の設置の答申を受けている。リニア時代は目前にある。新しい人の流れを受け入れ、定住人口の創出のため社会資本を投下し、クアオルトを地域づくりの基幹事業に据えたいと思う。



塩沢道雄 議員

A クアオルト事業を推進するべくプロジェクトチームを立ち上げた。村は予防や医療に細かく施策してきたが、生活習慣病、特にフレイル予防に力を入れる必要がある。その一つにクアオルト事業を加え、健康づくりに幅を持たせる。

南信州リニア未来ビジョンは中間報告として、南部では道路整備の他「健幸の里づくり」を目指す意見が出ている。各町村がその地にあった健康づくり事業を連携をもって組み合わせ、観光資源として活かしたい。「健幸の里づくり」は南部の地域づくりの核となるが、実現に向け町村間で検討し、できることから進められるよう働きかける。

コロナ感染対策について



串原寛治 議員

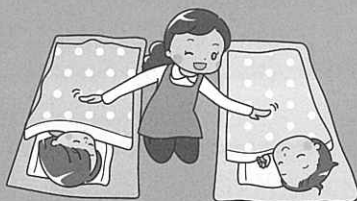
Q 子どもからの感染が広がっている。濃厚接触者だけでなく全村民に抗原検査キットを配布すべきではないか

A 村内では累計で180名の感染者となった。希望者に研究用キット無料配布を行い、安心と安全の提供が一定程度果たせたと思う。9月からは国の指導で必要者には、医療用検査キット購入(1600円余)に対し、1,000円補助する。保育園・小中学校でのコロナ感染があった。学級閉鎖などは保健所の指示をうけて決めている。

時間外手当支給について

Q 一般職の時間外手当支給は進んでいるか要望の多い延長保育をする保育士の代休、時間外手当支給はどうか、保育士増が必要ではないか。

A 業務量の適正化を図って時間外勤務は減少している。時間外勤務には代休や、手当の支給をしている。保育士は計画的な勤務配置をし代休は取れている。来年4月からの保育士募集をしているが、現在応募がない。



村道54号線、55号線改良について



竹村宗次 議員

Q 村道54号線は昭和40年以前は国道として使用されて現在は中島、大久保、粒良脇地区の皆さんが生活道路として利用されています。令和5年度には新しい粒良脇トンネルが開通されます。粒良脇方面の改良が望ましいと思います。村道55号線の改良について、災害で大久保地区が孤立集落になる可能性があります。55号線の整備が大切ではないか。

A 54号線の改良ですが宅地が両側にあり拡幅が難しい箇所があること、利用度など踏まえ、改良工事の必要性の精査、沿線地権者の同意が得られるかなど課題がある為、現段階では予定はありません。今後地元住民や地権者などの同意、要望があれば検討を考えます。村道55号線の整備の件ですが、災害に強い道路網の整備の一環で、村道10路線316箇所の点検を行い早期措置が必要な箇所が10箇所あり10箇所の内、村道55号線に4箇所あり55号線に限らず災害の予防対策を推進していく為に早期に修繕計画を立てて対処していきます。

シニアカーについて

Q シニアカーの安全講習が必要かと思えます。シニアカー購入時に補助金の制度を考えていただきたい。

A シニアカーに特化した講習会を平成30年に41名の参加で実施した。毎年村内4箇所高齢者学級の折に交通安全講習会を実施、要望があればシニアカーの講習会も検討したい。補助金制度を導入するにあたっては対象者の条件や補助金額の設定、安全性についてもよく検討したうえで本当に高齢者に喜んでいただけるものにすることが必要と考える。



工事監査現地視察（村道5号線歩道新設工事）

監査委員による令和3年度の決算監査が、8月23日から8月30日迄の期間で実施され、9月開催の第3回議会定例会で、前沢祐二代表監査委員から監査報告が行われました。

決算審査意見書の中では、村長から提出された令和3年度各会計の、歳入歳出決算書の計数に誤りがないか、予算が適正かつ効率的に執行されているかに主眼を置き、これまで

実施してきた毎月の例月監査、現金出納監査、備品監査、工事監査、村税・税外監査を参考にし、諸帳簿及び証拠書類との照合を行い決算監査を実施した結果、決算書は令和3年度各会計の財政状況、予算の執行を正確に表示しており適正であることを認めるとの報告がされました。また、意見書の中では、下條村の中枢を占める観光や商業の場として、そばの城とその周辺のリニア残土で埋め立てられる火沢地区



決算書類監査の様子

の造成地の開発をどう結び付けて進めていくか、今から計画に取り組む事の必要性と、これからも積極的な資本形成を目指して、健全な財政を保ちつつ、村民が安心して暮らせる村づくりに取り組まれないとの意見が述べられました。

(串原稔博)



表彰を受ける前沢代表監査委員

長野県町村監査委員研修会が、8月25日長野市で開催され、監査委員の2名が出席しました。研修に先立ち、自治功労者として前沢祐二代表監査委員が、町村監査委員表彰（6年以上在職者）の表彰を受

けました。研修は、長野県会計局の木村浩之会計審査幹より「監査事務の基礎について」と題して、地方自治体の会計事務についての説明とポイントとなる視点について説明がありました。

(串原稔博)

監査委員による決算監査を実施

長野県町村監査委員研修会開催

農業生産資材の価格高騰対策について



串原 肇 議員

Q 世界的な穀物需要の増加、エネルギー価格の上昇、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、最近の円安等の影響により肥料、飼料の価格高騰により、農家経営の悪化が大きな問題となっている。特に畜産関係では購入飼料は前年比3割程度の値上げとなり販売価格においては、品目によって差はあるが、5～15%程度の値下げとなっている。また肥料についても、春肥に対して秋肥は3割以上の値上げとなっている。国県でも高騰対策に対する支援を検討中であり、村でも、6月補正にて支援を実施している。その中、畜産農家の基盤維持の観点から1回限りの支援ではなく、高騰が続くならば、継続的な支援をお願いしたいがどうか。次に肥料についても、秋肥だけでなく春肥に対しても同様の支援をお願いしたいがどうか。また農業資材の高騰が問題化する中、国が取り組む農政において「みどりの食料システム戦略」肥料の高騰対策として「セーフティーネットの制度化」について村の考えはどうか。

A 肥料や飼料の価格高騰は、農業者にとって、多大な影響を受けるため、深刻な問題となっています。国や県でも支援策を検討しており、村でも6月補正予算にて支援策を実施している所です。村としても今後の情勢を見極めながら、また農業者の意見を聞きながら事業の拡充について検討したいと思っています。「みどりの食料システム戦略」「肥料のセーフティーネット制度化」については、国が主体となって進めて行くと思われませんが、村の農業をどうして行くかを含め、きめ細かな対応策を、検討してまいります。

中学生の「村づくり」提案をどう生かすか



丸山 浩子 議員

Q 村の活性化につながる中学生の提案——村のホームページなどの写真をもっと魅力的に、「食から村を元気に」村の特産品を使った料理レシピを。などを実現できないか。

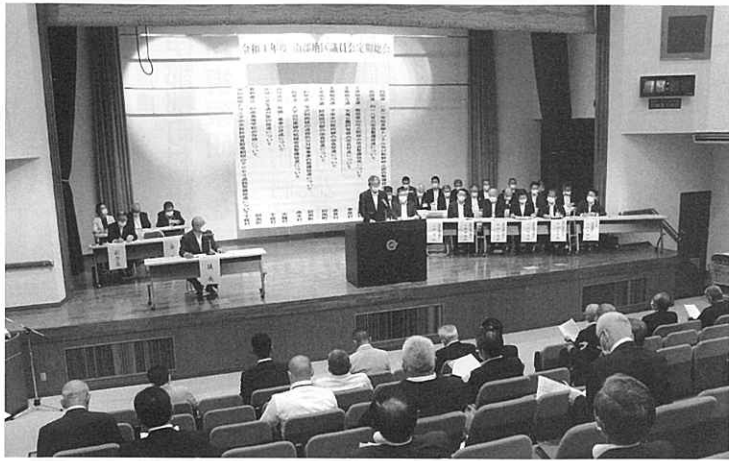
A 今まで中学生の提言を受けて実現したもの①読書手帳②メゾンコスモス単身者入居可能③独居高齢者宅訪問「あいの日」④防犯灯設置⑤カッセイカマンの看板設置⑥村木「ハナノキ」説明碑を小学校に設置などがある。本年度は交流会で提案のあった特産品レシピを、第3号補正予算で3,000冊印刷・製本し、「ふるさとの味お届け作戦」に梱包して離れて暮らす学生に届けたい。

Q 中学生のこの学習と提案を広報等で発信して村民に認知してもらうこと、1つでも多く形にして村づくりに関心を持ち、将来村を担う意欲や力を育てることを提案する。

A 今後も中学生の提言をしっかりと受け止め、導入可能なものや村づくりに繋がる事業には積極的に取り組みたい。こうしたことで、引き続き下條に住む、一旦離れても帰ってくる、ふるさとへの思いを持ち続けられるなどの効果があると考えます。

Q 中学生が村の人々に関わる機会が減っている。中学生のボランティア活動に村民も参加し共に働くことはどうか。

A 地区民全員での花いっぱい活動に中学生も参加している所もある。地区で工夫を。



南部地区議員会総会が 開催される

阿南町、下條村、売木村、天龍村、泰阜村の下伊那南部5町村議員で構成する「南部地区議員会定期総会」が、7月19日阿南町文化会館で開催されました。令和3年度事業報告・歳入歳出決算報告、令和4年度事業計画・歳入歳出予算報告の後、

下條村からは、丸山浩子議員が「地域公共交通対策の推進について」と、申原稔博議員



「間接的改良整備促進について」「間接的改良整備促進について」「間接的改良整備促進について」「間接的改良整備促進について」

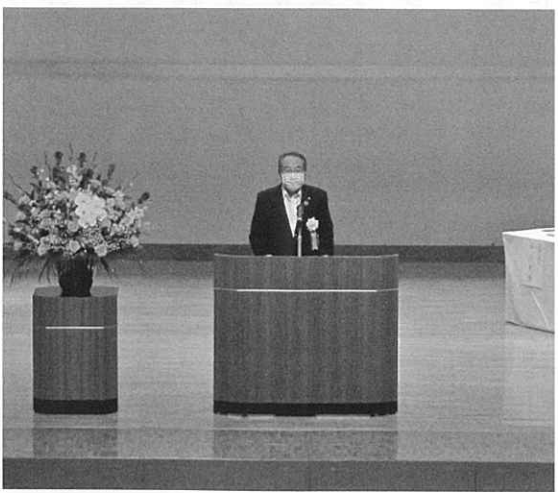


敬老記念行事に参加して

9月9日、令和4年度敬老記念行事が開催されました。70歳以上の敬老会員1036人のうち約80名の皆様が参加され、コスモホールにて盛大に行われました。

祝辞を述べました。また下條小学校児童2名によるおじいちゃん、おばあちゃんに感謝の気持ち伝える作文の発表がありました。すばらしい家族関係が、良く表現されていて、すばらしい作文だったと思われました。続いて落語林家うん平さん

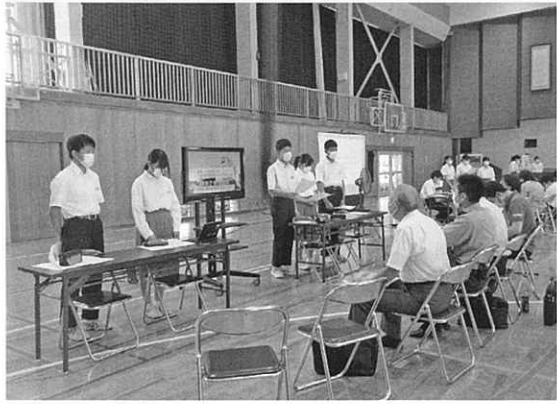
による落語とバルーンアートの演芸会が、ア



中学生と「村づくり意見交流会」開かれる



7月11日、今年ほどんなアイデアが聞けるだろうかと、わくわくしながら参加しました。1、「そばの城」に下條村のオススメスポット紹介コーナーを。お土産品の提案に缶蕎麦・デコレーションソフトクリームがありました。おいしい下條の蕎麦が車の中ですぐ食べられる！商品開発には多大な手間と費用



が必要ですが、商品化され店頭に並ぶのが楽しみです。若者の観光客を増やすために、デコソフトクリーム、からみんの着せ替え、うまいもの館の野菜にポップを付けて宣伝など、「そばの城」近辺を賑わす提案がたくさんありました。2、「食から村を元気に」特産品を使ったアレンジメニュー作り

下條ニンニク、親田ボブスレー、ジップライン、ウォーキングなどできる場所を作り、掲示板で村のPRをすれば人口増加につながるのではな

いかと中学生は考えています。近い将来に実現できることを応援します。○蕎麦フェス、コオロギ蕎麦

町村議会議員研修会

7月14日 松本キッセイ文化ホール

最初の講演は、「町村自治体の防災・減災と災害時の議会議員の役割」について跡見学園女子大学の鍵屋一教授が行った。多発する災害時の対応については、平時からの備えとして、現状を把握したきめ細かい避難計画作成や訓練が欠かせないとされた。災害時の議会の対応については、法制度や役割が明確ではないとして、議会で設置要綱がある例を取り上げ、災害発生時には、地域の一員として住民の命と尊厳を守り、救助活動に従事したり、災害情報の収集を行い報告などを議長に一元化して、行政の災害対策が効率的に進められるように、一体となって協力することだとし、議会基本条

例等で災害時の責務を規定しておくべきだとされた。続いて、「議会におけるハラスメント」について、弁護士（元衆議院法制局第一部第一課長）太田雅幸さんが、日常生活や、役所・議会内でのハラスメント（いやがらせ）の例を挙げられ、なくしていくには、研修会を行ったり、議会自身が防止対策に取り組まなければならないと講演された。（申原寛治）



命を守る防災のコツ
- 緊急避難は逃げる
- 自分だけが逃げられない人は？



議長コラム

下伊那郡町村議会議長が視察研修を実施

下伊那郡町村議会議長は、7月28日から2日間の日程で視察研修を行いました。

今回の研修は、地方議会の研究が専門の新潟県立大学田口一博先生に企画をお願いし、新潟市内での講演と新潟駅周辺整備事業の現地視察を行いました。

一日目

田口氏講演

「まちづくりに議会はどうかかわるか」と題した講演では、リニア中央新幹線を話題にしなが、議会活動や議員活動でできること、できないことについて解説したうえで、議会が主催して事業者や利害関係者を呼び込み、住民を巻き込んだ説明会や



講演会を行うなど、積極的に行動するようエールを送られました。

また、リニア長野県駅の駅前広場の整備については、町村議会が一体となって提案することも重要と強調されました。

二日目 新潟駅視察

新潟市が進めている新潟駅周辺整備事業を視察。鉄道で分断されていた南北市街地を一体化し、自動車・自転車・歩行者の安全で円滑な交通確保と賑わい空間の創出を目指す事業について説明を受けました。

新潟駅を高架化して

建設中の交通広場や、駅直下バスターミナルを見学したあと、新幹線ホーム内で説明を受けるなど、貴重な視察研修ができました。

今回の研修成果をリニアに関わる施策など地域振興に活かしていきたいと考えています。

出会いの喜びを大切に

8月15日の成人式と9月9日の敬老記念行事に出席して、人々との出会いの大切さを改めて感じました。成人式に集まってく



る皆さんはとても晴れやか。再会の歓声は控えめでも、若者らしい仕草がとても微笑ましく感じられました。

敬老記念行事では、送迎バスから降りた皆さんが再会の言葉を交わしながら、ゆつくりと会場に歩を進めていきました。

成人式と敬老記念行事。そこには半世紀をこえる年の差があっても変わらない、出会いの喜びがありました。

マスクなしの満面の笑顔があふれる出会いの機会が、一日も早く戻ってくることを願っています。

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと言われておりますが、彼岸になった途端に涼しくなり、今までの時期はずれの暑さは何だったのかと思われました。温暖化のためか今年の梅雨明けも気象庁でも迷う程、6月末の発表がありその後の暑さと長雨のためか例年になく草の伸びる勢いが止まらず、刈払機の出番が多く今年には特別だと多くの人がら耳にしました。

村でも2、3ヶ所の神社で風鎮祭を行い、台風被害がないようにと神頼みも、もうすでに9月末で18号も発生しており、天気も悪いため稲刈りも遅れ気味ですが、今後台風被害のない事を祈るのみです。(福澤利尚)

編集委員会

- 委員長 串原 肇
- 副委員長 丸山 浩子
- 委員 串原 寛治
- 委員 福澤 利尚
- 委員 串原 稔博
- 委員 田中 兼次